

事業所における自己評価結果（公表）

別紙 3

公表：令和 2年 3月 1日

事業所名 すたあと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		・定員を設けることで、丁寧な支援ができるようにしている。 ・療育のスペースについては、必要に応じてパーテーションを活用するなどして個別に対応するようにしている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	6		・配置の人数は適切であるが、丁寧な対応を心がけるとスムーズに療育が回らないと感じることもあり、必要に応じて職員を多めに配置するなどしている。	・親子療育で個別の対応をしながら保護者の方一人一人としっかりと時間を取って話をすることが難しいこともある。座談会など保護者の方と話をする時間を設定していきたい。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6		にじいる、親子、単独それぞれに応じた環境、それに加え、コロナの感染対応も行った環境の工夫がなされている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		・昨年度課題に挙がっていた害虫駆除については、本年度より害虫の駆除を委託している。	・新型コロナウイルス感染症の予防のため、例年よりも消毒を丁寧に実施しており、利用開始前、後に椅子や玄関など手の触れる場所についての消毒を行っており、今後も継続していく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6		・日々行われている。 ・振り返りの時間やカンファレンスの時間を使って業務改善に努めている。	・朝礼、振り返りの時間を通して、PDCAを意識するようにしている。限られた時間内で、多くの職員が参画できるよう、振り返りの仕方などは改善を考えていく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2	・評価表にご記入いただき、保護者の意向の把握、業務の見直しにつながるよう取り組んでいる。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	・評価表の結果から、改善点を考え、公表している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	5	法人内で、指導を受ける機会はあるが、業務改善につなげているとは思っていない。	・今年度は外部からの評価を受ける機会がなかった。客観的な評価を受ける機会が必要と考えている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	今年度については、新型コロナウイルス感染症の予防のために研修の機会が少ない。	・対面での研修の機会が減っている。オンラインの研修への参加など、状況に応じて対応している。次年度についても、対面に限らず必要な研修が受けられるよう考えていきたい。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	・活動の中でアセスメントを実施し、児童発達支援計画を作成している。	・アセスメントについて、現在の取り組みが適切であるのかといった振り返りや、アセスメント力の強化については今後の課題と考えている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	・遠城寺式乳幼児分析的発達検査を使ってアセスメントを実施している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	・必要に応じて、家庭面についての支援を取り入れている。 地域支援に関しては現在支援計画の中に入っていないが、必要な場合には取り入れていく。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	・プランをもとに、活動を設定しており、支援を実施している。	・ふり回りやカンファレンスを実施しながら、常に行っている支援が計画に沿っているかを考えていく。

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	・その週の担当職員が中心に活動を組んでおり、朝礼や振り返りの時間を使って共有している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	・日々の振り返りの中で取り組みの見直しを行っている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	・一対一での取り組みが必要な活動、複数の集団の中での取り組みが必要な活動を、それぞれの子どもの状況に応じて組み立てている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	開始前、後に打ち合わせ、振り返りの時間を確保している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	開始前、後に打ち合わせ、振り返りの時間を確保している。 日々丁寧に行われている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	・記録をとることで、どの職員も共通した関わり、継続した支援ができるようにしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	・年に3回のカンファレンス、それによるプランの見直しと懇談を実施している。また、途中の期間であっても、プランに変更が生じる可能性がある時には保護者と相談の上、見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	0	・保健師と必要に応じて連携をとっている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	-	-	該当なし	・医療的ケア児が利用していない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	-	-	該当なし	・医療的ケア児が利用していない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	・必要に応じて図っているが、機会は少ない。	・全利用児の様子を、園へ見に行かせていただき、必要に応じて連携を取っている。今後も継続して相互理解を図ってきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	2	・必要に応じて図っているが、機会は少ない。	・保護者からの依頼で引継ぎをすることはあるが、回数としては少ない。小学校へのスムーズな移行のためにも、積極的に機会を持っていきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4	・外部との連携は少ない。	・他機関からの助言や研修を受ける機会というのは少ないが、今年度よりコンサルテーションを受ける機会があり、助言・研修を受けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	6	・並行通園の児が多いため、あえて交流の機会を持つことはしていない。	・保育園や幼稚園、認定こども園に在籍されているご家庭が多いため、交流の機会は在籍の園で持っていたいでいる。

	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	5	・すたあとからは参加していないが、法人から参加している。	・法人内の職員が参加しており、必要に応じて情報共有をしている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	・できるだけ共有できるようにしている。 ・連絡帳や直接見ていただいたり動画を見ていただくことで共有できるようにしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	0	・AMIについてはペアレントトレーニングなどを時々実施している。PMIについてはサポートブックの作成会などを行っている。	・親子療育時に取り組んだペアレントトレーニングについてはアンケートを取りながら、次年度の家族支援プログラムを決めていく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	・契約時に責任者が説明し、同意を得ている。	・一度の説明では情報量も多く難しい表現も多いために理解しづらい点もあると思われるため、できるだけわかりやすい説明を心がけるとともに、疑問がある際にはその都度説明をさせていただきようとしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	0	定期的に懇談を実施しており、その中で同意をいただいている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	対応が難しい時には、一度持ち帰り、職員で話し合うようにしている。	・相談に答えていく職員の専門性を高めていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	ペアレントトレーニングと合わせて行っている。	・ペアレントトレーニングの際など、保護者同士で話をすることができて良かったというご意見をいただくことも多いため、保護者同士の交流が持てる機会を作っていく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	・苦情窓口を設定している。また、相談の体制を明確にするために今年度は苦情解決のマニュアルの作成を法人で行っている。 ・保護者からの相談や申入れがあった際には、できる限り迅速に対応するようにしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	園だよりを月一回作成している。 通信を毎月出している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	0	・就業後には鍵のかかるロッカーに個人情報を保管するなど、個人情報の取り扱いには気を付けている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	・各ご家庭の状況に応じて、個別に連絡を行ったり、メモにしてお渡しするなどの対応をしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	6	・並行通園しているご家庭が多くあるため、事業所内で地域に開かれた行事を行うことはない。	・個人情報、守秘義務の観点から地域の方を招待することは難しい。お買い物活動やお散歩の時間などを通して、地域の方とあいさつを交わす機会は設けることができる。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	0	・土砂災害に関するマニュアルなどを作成しており、避難の経路を確認するなど職員で共有している。	
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	・毎月、避難訓練を実施している。		

非常時等の対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	0	・契約時や年度が変わった際にカルテの確認をしている。	・年度での情報の更新など、懇談の機会に確認することを徹底していくようにする。また、変更があった時にはお知らせいただくように保護者の方へも案内していく。 ・記入の願いはしているが、予防接種の項目等漏れがある場合もあるため、書類を受け取った際にしっかり確認していくようにする。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	・保護者の方と共有しながら対応している。 ・今年度は対象者がいない。	・アレルギーのある利用児がいる際には、個別に皿や保存容器を分けることで対応していく。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	事例集はないが、ひやりはつと報告書を作成している。	・事例集という形では作成していない。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1	今年度については、コロナウイルス感染症の感染予防のため、全体での実施ができておらず、事業所単位で確認している。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	0	身体を拘束することに関する説明および承諾書を今年度より作成しており、これまでよりもより丁寧に説明できるようにしている。	